

那賀川・桑野川大規模氾濫に関する減災対策協議会 平成30年2月 取組状況

■ 取組

2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

(1) 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ① 連絡体制の確認と情報共有の強化
- ② 重要水防箇所等に付いて水防団と共同点検
 - ・ 重要水防箇所等の共同点検及び水防団との意見交換

【四国地整】

2月22日(木)18時より、阿南市消防団との意見交換会を那賀川河川事務所にて実施しました。

那賀川河川事務所からの情報提供では、野本所長のダムに対する思い、想定最大規模の浸水想定区域図・重要水防箇所の説明を行った後、消防団との意見交換会を行いました。

阿南市消防本部、阿南市消防団からは、本部をはじめ那賀川流域に関わる6分団の計23名が参加頂き、国総研の武内主任研究官主導で、現在の水防活動の実情、問題点等のヒアリングを行いました。意見交換会では、平成26年及び平成27年出水の状況を中心にヒアリングを行い、加茂地区における水防の実態や、岩脇地区にある陸閘の問題等、現場でないと分からない貴重な意見を頂きました。

那賀川河川事務所では、引き続き那賀川・桑野川における減災に関する取組を推進するとともに、社会全体で平常時から洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を行っていきます。

